



2011.11.13 七五三

使命を果たしながら、主を待ち望む

主任司祭 B.ノヴァク

キリスト者である私たちは、大きな希望をもって、主イエス・キリストの再臨を待ち望んでいます。なぜなら、イエスは栄光に包まれて、権威をもってこの世に來られるときに、私たちのイエスとの愛の絆が完成されて、イエスと一つになることによって、三位一体の神と同時に救われたすべての人々との完全な愛の交わりに入る、つまり神の国が完成されるからです。

イエス・キリストを待つ間に私たちには果たさなければならぬ使命が与えられています。人によってこの使命の形が違って、基本的にそれは、イエス・キリストの愛を証ししながら、福音を宣べ伝えることなのです。この使命の目的は、なるべく多くの人がイエス・キリストがご自分の死と復活によって成し遂げてくださった救いの恵みにあずかるように、この人たちをイエスのもとに導くことです。しかし、この使命を果たすことによって、私たちは、イエス・キリストとの絆を固め、再臨されるときにイエスを迎えるために準備するのです。

というのは、イエス・キリストは、いつか見える形でこの世に再び來られますが、いつでも、目に見えない形で、私たちと共にいてくださるのです。今は、イエス・キリストの姿を見ることができなくても、信仰によって、イエスを知る事ができますし、愛することもできます。従って、今既にイエスを自分の人生に受け入れること、イエスと愛の絆で結ばれて、共に生きる事ができるのです。実は、愛の絆に結ばれて、イエスと共に生きる時だけ、与えられた使命を果たす事ができるのです。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(at the Maria Kan Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

2011年12月4日

司祭団より

・ごはん応援箱のプロジェクトは終了した。近い内に別の形で再開を予定している。
 ・12月11日のミサに名古屋ダルクの方々が来訪し支援要請をする。

・2月19日の9時半のミサ後にマリア館のホールで成井神父様の仙台教区サポーターセンターの活動報告を予定している。

・讚美歌集に15、16箇所誤りがある。まず、クリスマスまでに43ページ「来たれ友よ」の修正版（2節、3節を加える）を貼り付ける。以後、順に修正版（シール）を貼り付ける作業を有志で行う。他に修正点があれば紙に書いて教会事務所に提出してもらいたい。また、讚美歌集を家庭で持っている方のための修正版を用意する。

報告事項

1. 南山教会バザー収益金の寄贈先決定報告について

月報11月号に掲載のとおりなる予定だが、正式なものは月報12月号に掲載する。今回は防災用品の更新はしな

2. 司教様を囲む新年の集いについて

1月15日14時から布池教会大聖堂でミサ、16時から同地下ホールでパーティーを行う。今年度の当番は城東ブルックであり、南山教会は議長教会として中心的な役割を果たさなければならぬが、割当てられた仕事はヨゼフ会、マリア会等で分担して進めていきたい。

審議事項

1. クリスマス・年末年始の典

・クリスマス・年末年始の典と。パーティーについて
 ・クリスマス・ミサは24日16時、20時、24時、25日8時、9時半、18時の6回
 ・年末年始のミサは31日14時半、23時、1日10時、18時の4回
 ・クリスマスパーティーは昨年と同様に持ち寄り方式で行う。支援のお願いを配布したが日付に誤り（昨年のまま）がある。

2. 2012年度運営委員会役員

の選出について
 規約に従うと次期運営委員長は現任運営委員の中から選出するとなっている。これま

では現運営委員長が次期委員長候補の方に個人的にお願いして推薦する形を取らざるを得ない状況だったが、公平な運営委員会の場で次期運営委員長の選出ができないものか検討していただきたい。次回以降で再度検討していただく。

3. 2012年度各会予算案提出について

遅くとも来週までに各会から予算案を提出する。

4. 営繕委員会から

営繕積立金を創設したいとの提案があった。平成10年に建物診断の上で修繕計画を策定したが、時々の予算等の事情により、計画どおりに行われていない。平成30年頃には再診断が必要になるが、その結果を受けて2000、3000万円規模の修繕が必要になると思われる。また、大聖堂の屋根防水が劣化しており、カトリック会館はさらに劣化が進んでいるため、その補修にも1500万円程度を要する。これら費用を賄うためには毎年300、400万円の積立をしておく必要がある、この積立金は将来の大

各会報告
マリア会

11月11日に長浜の黒壁スクエアへバザー慰労を兼ねた遠足を、神父様3名を含む45名が参加した。

12月マリア会例会後の有志による震災支援のためのお店は68000円の売上げがあった。

中高生保護者会

11月20日に保護者会を開きボクダン神父様より「自由と愛のための子どもの霊的な育成」というテーマでお話をいただき、イエス様の御心を行うことができると、子供を育み成長を見守っていかれたらと考えさせられる機会となった。

次回保護者会は1月15日に行

う。1月22日に太田実神父様（名

古屋教区)をお招きして懇話会を行う。10時45分からマリア館ホールにて、テーマは「出会いのかけら」、中高生保護者、中高生、教会学校保護者の皆様ぜひご参加ください。

ミニロザリオについて、予約を受けたが、11月6日の販売時に渡せなかった方にお渡しし、新たに収益金が1000円生じたため、事務所の東日本大震災支援箱に寄付した。

ボーイスカウト

12月24日20時クリスマスミサの駐車場整理のお手伝いをする。

1月15日に新春もちつき大会開催を計画しているのでは是非ご参加ください。

1月22日、2月4～5日、2月26日に宗教草(キリスト教)講座実施予定、ボーイスカウト1級資格取得者以上を対象とします。

典礼委員会

11月6日…八事共同納骨堂にて南山教会物故者のためのミサをささげる

11月13日…七五三の祝福

11月27日…典礼委員会

12月4日…神言神学院の共同体とともにミサをささげる

12月18日…共同回心式、典礼委員会

12月24日…16時、20時、24時、御降誕夜半のミサ

20時はキャンドルサービスを行います

12月25日…8時、9時半、18時、御降誕日中のミサ

12月31日…14時半、神の母マリアミサ

1月1日…10時、18時、神の母マリアにささげるミサ

英語ミサ

12月11日…英語で個人告白式を行う(リーマー神父様)

12月24日…合同ミサ

12月18日…中高生会終業式、ミサ後は八事聖霊修道院を訪問し昼食(八事聖霊修道院 後14時に南山教会で解散)

12月17～18日…堅信一泊黙想会(中高生対象)、指導はアントニー神父様

子供部屋

11月に発表したように、父母だけでなく祖父母との参加も可、他教会からの参加も可、カトリック系幼稚園に通い興味を持ってもらえる方の参加、また、ビデオ教材も用いています。

す。

関東の教会においてカトリック系小学校受験を考えている親子が教会に学びに来ている例があるので、子供部屋はそのような方にも開かれています。

次回は1月8日

教会学校の聖劇

伊藤リーダー

アンジェイ神父様のご提案により、教会学校では、今年のクリスマスに聖劇をすることになりました。初めてのことであり、練習する日数も限られた中、子供たちはもちろん、ご両親、リーダーたちも一生懸命準備しています。この聖劇を通して、子供たちの心が神様の心と一つになりますように皆様のお祈りをお願い致します。尚、子供たちの聖劇は、



12月18日の11時からマ

リア館ホールで行います。準備不足の感は否めませんが、もしご覧になりたい方々はどなたでもお越し下さい。

クリスマスカード作り

教会学校の子供たちは、毎年12月に、聖霊会のシスター方のご厚意で、クリスマスカードをもって聖霊病院を訪問しています。写真は子供たちが手作りのクリスマスカードを作っているところです。子供たちが、患者さんの心にクリスマスの喜びを運んでくれますように。



心の傷の癒しとゆるし

(その6)



B・ノヴァク神父

3・4 ゆるしに関する間違っ
た考え方

多くの場合、加害者をゆるすことが難しくなっているのは、ゆるすとはどういうことであるかについて間違った考え方や確信をもってゆるすことではないというのを知ることによって、ゆるすことを難しくする、それともそれを不可能にする妨げを取り除くことが多いです。

3・4・1 「自分よりも強い人
をゆるす意味がない」

子どもが自分の権利や正しい被害意識を教えられることはまだめったにないことです。その代わりに、子どもが両親や先生や他の権力者に背いたときに、罪悪感や罪の意識を教えられるのは、ひんばんにあることでしょう。そのような不従順のために罰せられることは常識になつていますが、自分の過ちを認め、反省し、謝った上にゆるしを願うならば、この罰を避け

ることができる可能性があまりありません。このように、罰を免除しては、実際に相手の権力や自分に対するこの人の支配権を認めることであり、この人の前にへりくだることなのです。おそらく、自分の権力を固めるために多くの支配者たちは、自分に逆らったことによって、自分の権威に挑戦したと思う人々が自分の憐れみを願うように、色々な仕方で彼らに強いことがあるでしょう。そのような場合、ゆるしを願うことは確かに、人を辱めると言えると思えます。ですから、自尊心をもち、自分の自由を大切にしている人が権力者の憐みを乞うことであるゆるしを願うことを嫌がるのは当然でしょう。

恐らく、私たちもそのような体験をし、そのような思いをします。それがあのではないかと思えます。その時、ゆるす人、つまり罰を免除する人は、私たちがより強い立場の人で、罰を与える力のある人なのです。このよ

らば、この人をゆるす意味がないと考えるようになっても不思議ではありません。なぜなら、元々この人を罰する力がないので、免除することもないからです。

このように理解されているゆるしは、傷つけることや害を与えることと何の関係もないことです。子どもや弱い立場にある人々は、自分の不従順によって両親や他の権力者を怒らせることがあっても、傷つけることがないので、ゆるすこと、つまり不従順な人を罰するのを諦めるのは、自分の支配を確認し、それを強めるための手段にすぎないものなのです。したがって、このような意味でのゆるしは、精神的な傷の癒しの結果であり、苦しい記憶から被害者を自由にする、つまり加害者よりも、被害者が必要としているゆるしとまったく異なるものなのです。真の意味でのゆるすことでは、決して罰を免除することではないのです。

3・4・2 「ゆるすことは、悪
を軽んじることや加害者を無
罪にすることですので、正義
に反する」

誰かが私たちに傷を負わせたならば、私たちは痛みを感じ、

苦しんでいます。相手をゆるすことは、そのような事実と逆らって、私たちが傷付けた加害者の行いが全然悪くなかったとか、大した問題ではなかったというのを宣言することではありません。または、私たちが誰かをゆるしたということとは、この人の行いが起こした問題が解決されたとか、この人を無罪にしたゆえに、この人が自分の行動に伴う責任をとる必要がないということを意味するのでもありません。悪を行った人々は、被害者にゆるされても、損害を賠償する義務や、行動を改める必要性が残るのです。けれども、それは、私たちではなく、彼らにかかっています。彼らが法律を犯したならば、社会の一員として法律で定められた罰を受けなければなりません。私たちのゆるしは、それを免除するわけではないし、免除することもできないでしょう。

考えてみれば、悪い行いの責任を取ることが免除することでは、決して良い教育ではありません。そんなことをすれば、いくら悪いことをしても、謝つて、ゆるしさえ願えば、その行いの責任をとる必要がなくなるというような間違った確信を抱かせることになるでしょう。神

が人間の罪をゆるすときにさ
え、人は自分の行いの責任を取
らなければなりません。という
のは、私たちは罪を犯す時に罪
の対象となつているものと不健
全な絆を結び、このものとの依
存関係に入ります。神にゆるさ
れても、この不健全な愛着が残
りますので、神の助けに支えら
れながらも、この不健全な絆を
なくし、自由になるように努め
なければなりません。この結果
と、この戦いは、私たちが取ら
なければならぬ責任なので
す。

加害者をゆるすとは、決して
その人に悪を行う許可を与える
ことではありません。加害者を
ゆるしても、私たちや他の人が
傷を負わせることがないため
に、この人はこれ以上悪を行う
ことができないように、できる
こと、つまり可能でありなが
ら、正しいやり方でもあること
をしなければならぬのです。
ヨハネ・パウロ二世は、教皇の
暗殺を試みたアリ・アクチャを
ゆるしましたが、この人は自分
にとつても、他の人にとつても
危険な人であったわけですが
で、彼の釈放を依頼したことが
ありませんでした。

愛の実践である私たちのゆる

しは、悪を行った人の回心を促
すかもしれないませんが、この人の
回心を私たちのゆるしの条件に
してはいけません。つまり「あな
たが謝つて、二度とそんなこと
をしないと約束をするならば、
ゆるしてあげる」というような
言い方をしてはならないので
す。なぜなら、このような条件
に基づくゆるしは、前に語つた
ような罰を免除する意味でのゆ
るしであるだけではなく、私た
ちのゆるしは、この人にとつて
何の意味もないもので、この人
が全然必要としないし、求めて
いないものであることもありま
すので、私たちは、この人の回
心をゆるす条件にしてはいる限
り、ゆるすことができないから
です。わたしたちのゆるしは、
加害者にとつて無意味なものだ
けで、この人に何の影響を及ぼ
さないものであつても、私たち
にとつて決して無意味なことだ
けではありません。私たちのゆる
しは、加害者にとつて益になると
いう確信をもつことができません
が、私たちや私たちの周りに
ある人々の益になるといふ確信
をもつことができないのです。こ
のようなゆるしは、無条件のも
のであるのです。

3・4・3「ゆるすことは、苦
しい体験を忘れることであ
る」

多くの人がゆるすことができ
ないのは、ゆるすために苦しい
体験を忘れなければならぬとい
思っているからです。というの
は、彼らにとつてこの体験を忘
れることは、自分の人生の大事
な一部を捨てると同時に、この
体験に基づいて出来上がった本
性を失くすことなのです。もし
て、この体験を一生忘れること
ができないし、自分の本性も失
いたくないので、ゆるすことが
できないという結論を出すわけ
です。

以上の考え方は、大きな誤解
です。実は、苦しい体験を忘れ
ることは、心の傷の癒しを促さ
ないし、結果的にゆるすことに
全然役に立たないだけではな
く、逆に、苦しい体験を忘れる
ことは、ゆるすことを不可能に
するのである。なぜなら、私た
ちは、自分の体験を理解した上
に、負わされた悪や受けた害と
同時に必ず良い実をもたらすこ
とのできるこの体験の価値を知
り、それを私たちの宝にして初
めて、真の癒しとそれに伴うゆ
るしが可能になるからです。
復活したイエスの体に受難の

傷跡があつたように、私たちの
心にも傷跡が残ります。この傷
跡は、いつも私たちの苦しい体
験を思い起こし続けるのです。
けれども、私たちは、イエスが
ゆるしたように加害者をゆるす
ならば、イエスの受難の記憶と
同じように、私たちの苦しい体
験の記憶は、憎しみや妬みの源
ではなく、愛と平和の源となる
のです。古い傷の苦しみは、も
はや私たちの人生を支配した
り、自己中心的な行動をとらせ
たりすることなく、私たちが生
かし、私たちの人生をより豊か
なものにするのです。

(つづく)

ボーイスカウトの餅つき大会

日時 2012年1月15日
午前10時～お昼まで
場所 南山教会中庭
館ころ餅・キナ粉餅・雑煮等

食べ放題!



どなたでも参加できます。

餅つきの実演も参加してください。

主催：ボーイスカウト名古屋東97団

石田周子

11月11日(金)、あいにくの雨模様の中、ボクダン神父様、ニコ神父様、アントニー神父様と共に45名、長浜の黒壁へ遠足に行きました。南山教会を朝8時30分に出発して、始めにボクダン神父様から皆様にバザーでのねぎらいの言葉を頂き、そして祈りを致しました。しばらくしてバスの中での恒例のバザー反省会にうつり、各班の報告、7班、8班からバザー委員会への来年の要望が出されました。その後、皆で、「大波のように」「四季の歌」など歌いながら10時に長浜教会へ到着。武藤様の出迎えを受けました。(長浜教会は彦根教会の巡回教会で、留守を預かっていらつしやる方です。)50名程の座席でしつとりと落ち着いた聖堂でした。三司祭の司式のもと、大森さんのオルガンで歌ミサに与りました。ミサ後、武藤様から長浜教会の歩みをお話し下さり、メリノール宣教会の司牧で彦根教会の柳本神父様が日曜日に日本語ミサを、ブラジル人の信者の方にはポルトガル語、英語ミサがあり

今は日本人の信者が少なくブラジル人は130名程で、教会で色々と活躍されているそうです。又この湖北の地域は昔から浄土新宗の信仰が厚く250の寺があり、宣教がとても難しい所と言われました。11時半すぎには、お忙しい中を柳本神父様がかけて下さり、よくいらつしやいました、とご挨拶を頂き、その後、柳本神父様、南山教会の皆様とお茶を頂きながら歓談し、お見送りを受けて黒壁へ向かいました。到着した時には雨も上がり、長浜の郷土料理の焼鯖そうめん、焼鯖寿司、近江牛等、黒壁ガラス館、曳山博物館、オルゴール堂、長浜城歴史博物館(秀吉公が居城として初めて築いた城)等、食べるもの見るものが満載で12時から15時まで昼食と自由散策を楽しみながら15時に黒壁を後に長浜から彦根インターまで13キロ、15分程をびわ湖湖畔のせせらぎ街道を通り、くもり空の中、野鳥たちが湖面に下りたちすみ絵のように美しい風景でした。帰りのバスの中では「森へ行きましょう」をポランド語で

ボクダン神父様が、その後私達が日本語で、ニコ神父様が「川の流れるように」インドネシア語で「アベマリア」とすばらしい歌声を又にぎやかなおしゃべりと、最後の歌は三司祭がサルベレジナを声高らかに歌って下さり午後5時15分南山教会へ到着しました。神父様を始め、皆様と楽しい一日を過ごしました。



秘跡的いけにえにおける感謝、記念、現存

カトリック教会のカテキズムより

- 1356 キリスト者が、異なる時代を経て多様な典礼を持つにもかかわらず、当初から実質的には変わらない一つの形式でエウカリスチアを行ってきたのは、受難の前夜に「わたしの記念としてこのように行いなさい」(一コリント11,24-25)といわれたキリストの命令に従うためでした。
- 1357 わたしたちはキリストの命令を、そのいけにえの記念を行うことによって果たします。そうすることにより、御父がわたしたちに与えてくださったもの、すなわち、自然の産物であるパンとぶどう酒が聖霊の力とキリストのことばとによってキリストのからだと血になったものを、御父にささげます。こうしてキリストは、実際に、また、神秘的に現存するようになります。
- 1358 したがってわたしたちは、エウカリスチアを以下のように理解しなければなりません。
 - ・御父への感謝と賛美
 - ・キリストおよびそのからだである教会の、いけにえによる記念
 - ・キリストのことばとその霊の力とによるキリストの現存

南山句会

平成二十三年十一月二日



神父より賜ふワインや敬老日

義子

秋日和バザーに集ふ笑顔あり

瑞子

秋風や窓辺に朝のレモンテイ

紀子

たそがれの木々のざわめき秋の声

とく子

古い慣れや自問自答の秋深む

洋子

清楚とは心澄むもの菊白し

牧子

行く秋や鎌倉山の水子佛

のぼる

はや師走片付けせむとあせりをり

光子

木犀や金の十字架敷きつめて

せつ子

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館一階集会室

信者の消息

結婚

♡ お幸せに ♡

11月27日
赤松 昇 ♡ レジア 松井菜々子

転入

ようこそ

フランスカ 今井貞子 (岩国教会)
マチン・フランスコ・サビエル 伊藤雅之 (麴町教会)
マリア・ルカ 伊藤佳美 (麴町教会)
マリア 倉重幸恵 (守山教会)
レジア 倉重裕子 (守山教会)
ヨハネ 倉重款一 (守山教会)
ルイ・マリア・グリニョン・ド・モンフィール 倉重秀輝
(守山教会)

帰天

ご冥福をお祈りいたします

マリア・マグダレタ 小寺秀子 (85歳)
アルベルト 加藤又氏 (85歳)

転出

いつまでもお元気で

アガタ 出口よし子 (高蔵寺ニウタウン教会)

2011年12月・2012年1月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
12月	8(水)無原罪の聖マリア 25(日)主の降誕 30(金)聖家族	6(火)ニコ師霊名の祝日 18(日)共同回心式 24(土)主の降誕の前夜ミサ 日英合同ミサ(20:00) 21:30クリスマスパーティ 25(日)主の降誕ミサ 31(土)23:00旧年感謝ミサ・新年の祝福	2(金)マリア会例会(懇談会) 3(土)要約筆記付きミサ 4(日)運営委員会 11(日)ヨセフ会班長会 17(土)子ども部屋クリスマス会 18(日)典礼委員会 18(日)教会学校クリスマス会 18(日)ボーイスカウトクリスマス会	1(木)司祭協議会 4(日)宣教地司祭育成の日(献金)
1月	1(日)神の母聖マリア 世界平和祈願日 8(日)主の公現 9(月)主の洗礼	1(日)10:00新年平和ミサ・成人式	8(日)運営委員会 8(日)教会学校 中高生会始業式 13(金)マリア会新年会 15(日)ヨセフ会班長会 15(日)新春餅つき大会(ホーイ) 21(土)10:30子ども部屋 22(日)典礼委員会 28(土)要約筆記付きミサ	1(日)世界平和の日 15(日)信徒協「司教を囲む新年の集い」 18(水)~25(水)キリスト教一致祈祷週間 19(木)司祭協議会



2011年
カトリック南山教会

クリスマス 主のご降誕お祝いのご案内

夜半のミサ (クリスマスイヴの夜)

12月24日(土) 16:00; 20:00; 24:00

日中のミサ (クリスマス当日)

12月25日(日) 8:00; 9:30; 18:00

年末年始ミサ時間

旧年感謝ミサ:12月31日(土) 23:00

(ミサ後聖体礼拝と新年の祝福を行います)

新年ミサ: 1月1日(日) 10:00; 18:00



カトリック信者でない方も、ミサに参加することができます。